

フロン排出抑制法の施行について

平素は弊社製品をご愛用賜りまして誠にありがとうございます。
以下に平成 27 年 4 月 1 日より施行された「フロン排出抑制法」に伴う変更点をご案内いたします。

記

1. お客様の事前準備

管理者を選出して頂き、使用されている第一種特定製品をリスト化します。
使用されている冷媒の種類と量、冷凍機の定格出力などを把握してください。

2. お客様の管理内容

すべての冷凍機を有する機器は 3 ヶ月に 1 度以上の簡易点検が義務づけられます。
またひとつの冷凍サイクルを構成する冷凍機の定格出力が 7.5kw 以上の機器は簡易点検のほか
に、有資格者による定期点検が 1 年に 1 度以上必要となります。
これらの点検と修理した際の記録は装置を廃棄するまで管理、保存が義務づけられています。
簡易点検や定期点検の内容、法令の詳細な内容は環境省のホームページをご覧ください。

3. 当社の対象製品

・簡易点検対象品

冷凍機出力 7.5Kw 未満の冷凍機を搭載したすべての製品
例：ハイフレックス、コロニア、ラボニック、ジュニア等の標準品

・簡易点検 + 定期点検対象品

冷凍機出力 7.5Kw 以上の冷凍機を搭載したすべての製品
例：特機製品、ウインテク【別表 1】参照

4. 当社の対応

簡易点検、定期点検は弊社でも承りますので当社代理店または各サポートセンターへご連絡ください。

【別表 1】

NT1500W/A	NT2000W/A	NT2300W/A
-----------	-----------	-----------

尚、下記製品につきましては冷凍機メーカーの出力仕様変更(7.5kw⇒7.46kw、2016 年 3 月 1 日付)に伴い、定期点検の必要はありませんが、安心してエタック製品をお使いいただくため、お客様のご希望により点検を承ります。【別表 2】

【別表 2】

NT1200W	NT1510W/A	NT2010W/A	NT2310W/A
NT1230W	NT1530W/A	NT2030W/A	-
NT1231W	NT1531W/A	NT2031W/A	-

以上

フロン排出抑制法に伴う「簡易点検」手順

1. 必要項目に内容を記載する

※チェックシートの形式は特に指定はありません。

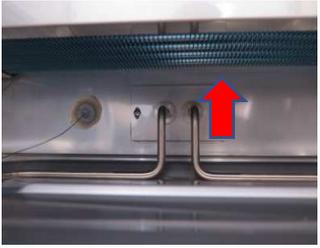
参考として、JARAC 日設連のホームページに見本がありますので、ご参照下さい。

<http://www.jarac.or.jp/>

1) お客様名を記載してください

2) 型式と LOTNo.は、装置左側面のラベル(銘板)を確認してください。

2. 目視

1		① 正面下部のカバーを開く。 ② 給水タンクを引き出す。 ③ 空冷フィルターを外す。 ④ コンデンサー部のオイル付着を確認する。
2		① 試験室扉を開く。 ② 試験室奥下の加湿パン部のオイル付着を確認する。 ※連続試験中で運転停止できない場合 ① 観測窓より確認する。(テスト品等により見えない場合、この確認項目は斜線で消して下さい。)
3		① 試験室扉を開く。 ② 試験室奥下より手鏡にて上方向を覗き、冷却コイルに氷が多量に付着していないかを確認する。(氷や霜が付着していてアルミフィン部分の隙間が塞がっている場合は、霜取り運転を実施して下さい。)
4		① 装置背面部のドレンホースよりオイル排水が無いかを確認する(シリコンホース側)

3. 運転状態

1	画像はありません	① 任意の設定値に到達後、約 30 分以上待つ。 ② 表示部の設定と現在値を確認する。 ③ 下記仕様内に制御できているか確認する。 (温湿度変動幅 $\pm 0.3^{\circ}\text{C}$ / $\pm 2.5\%$ 以内) 注意)ウイックガーゼは新品に交換してください。
2	画像はありません	運転中に装置の周りからブザー音や金属が擦れるような音や周期的に変化するビビリ音などが聞こえないか確認して下さい。
3	画像はありません	運転中に、外装パネルが異常に振動していないか確認してください。

4. 確認日と確認者名を記載

1)西暦で記載 2021年 月 日

5. 備考

1) 不具合点などをメモする。